

職員新型コロナウイルス感染症発生の経過ご報告

2021年8月31日
施設長 河崎洋子

いつも当センターの運営にご協力ありがとうございます。

2021年8月30日、当センター在宅支援課職員1名の新型コロナウイルス感染症発生が判明しました。

該当職員は新型コロナワクチンを5月中に2回目まで完了しています。8月30日出勤後に咽頭違和感出現、勤務終了後夕方に発熱したため、近医受診にてPCR検査を実施して陽性と判明しています。発症2日前（8月28日）から感染力を持つと考えられますが、28・30日は重症児デイサービス（こすもす）、29日は短期入所（はびねす）で勤務をしています。該当職員は常時マスク装着、手指衛生を徹底していました。

保健所の調査の結果、濃厚接触者にあたる利用者・職員はおりません。念のため当センターの判断で全職員の抗原検査と接触のあった利用者様のPCR検査を予定しています。

該当職員は勤務中以外の日常生活でも常時マスクを着用して感染対策に充分配慮しており、現時点での感染経路は不明です。デルタ株の感染力の強さと神戸市内の感染状況を考えると、当センターにおける在宅支援サービスにおいて緊急事態宣言中は縮小して提供する必要があるかと考えられるため以下の対応とさせていただきます。

- ・福祉サービス（生活介護・短期入所・重症児デイ・放課後等デイ）：
基本は休止としますが、どうしてもお困りの場合は個別で対応させていただきますのでお申し出ください。
- ・外来受診：
9月3日までは電話診に切り替えを推奨。デバイス（胃瘻ボタン・カニューレ）の交換や整形外科受診、ボトックス注射、ワクチン外来は延期のご希望があれば予約変更させていただきますが、受診は対応可能です。
- ・外来リハビリ：
9月3日までは基本休止としますが、補装具等必要な場合は対応可能です。

ご利用者様には大変ご迷惑とご心配をおかけしますが、今後も保健所等の関係機関と緊密な連携を取りながら対応してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。